Vol.36 はんチューナース便り

発行人
看護部長室

10月のお知らせ



10月25日(日)開催のTAWARA fes.2026に参加しました。
大雨のなかでしたが、たくさんの方に来ていただきました。
看護師による「ハンドマッサージ」は毎回好評です。



11月のイベント

11月14日(土)阪奈フェスタに参加
阪奈リハビリテーション専門学校





看護師によるハンドマッサージ
跳ねる風船作り



ハンドマッサージは疲れが取れると喜んでいただけました。

11月21日(土) 院内レクリエーション
ブラスバンドの演奏会
生駒市桜ケ丘小学校ハーモニックバンドクラブ







アンコールの拍手が続く、最高の演奏でした。
泣いている患者さまもおられました。
感染対策を行いながらの開催でしたが皆さんに喜んでいただけました。
バンドの皆さんありがとうございました。

現在、新人看護職員がローテーション研修をしています。
今年は、法人内の施設にも研修に行かせていただいています。



看護部長のひとりごと

毎日、私たちはたくさんの業務を抱えながら仕事をしています。患者さまへの対応、記録、報告、確認、スタッフ間の調整など、次から次へとやらなければならないことが出てきます。
忙しさに追われていると、「あとでやろう」「少し落ち着いてから」と思っていたことが、いつの間にか抜け落ちてしまうことはありませんか？
人間ですから、誰にでも忘れることはあります。しかし、看護の仕事では、その小さな抜け落ちが患者さんの安全や安心に影響することもあります。大切なのは、自分の記憶だけに頼らないこと。
仕事ができる人とは、すべてを覚えている人ではありません。忘れないための工夫ができる人です。